

## 県土利用の推移等(参考資料)

- |                  |        |
|------------------|--------|
| 1. 本県人口の推移       | P1～P3  |
| 2. 利用区分別長期推移     | P4     |
| 3. 第五次計画の目標値と現況値 | P4     |
| 4. 地目別面積等の推移     | P5～p 8 |
| 5. 主な地目ごとの関連データ  | p9～p13 |

農地(田畑別面積, 耕地利用率, 農地のかい廃面積, 転用動向, 耕作放棄地, 農業就業人口)

森林(森林法に基づく開発許可面積)

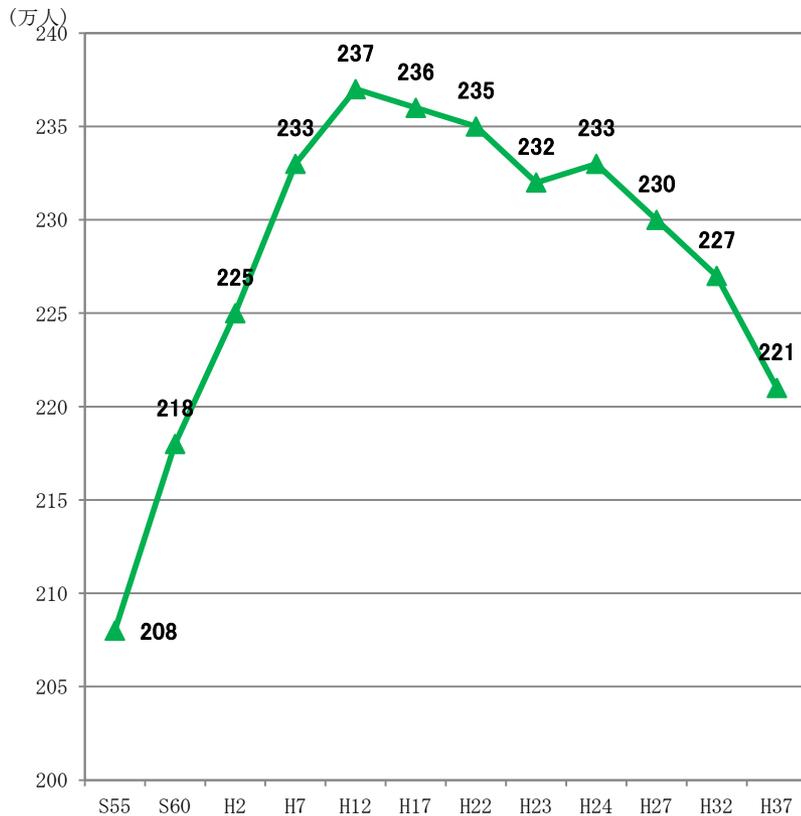
宅地(都市計画法に基づく開発許可面積, 新設住宅着工件数)

自然保護関係(自然公園内, 自然環境保全地域等における許可・届出面積)

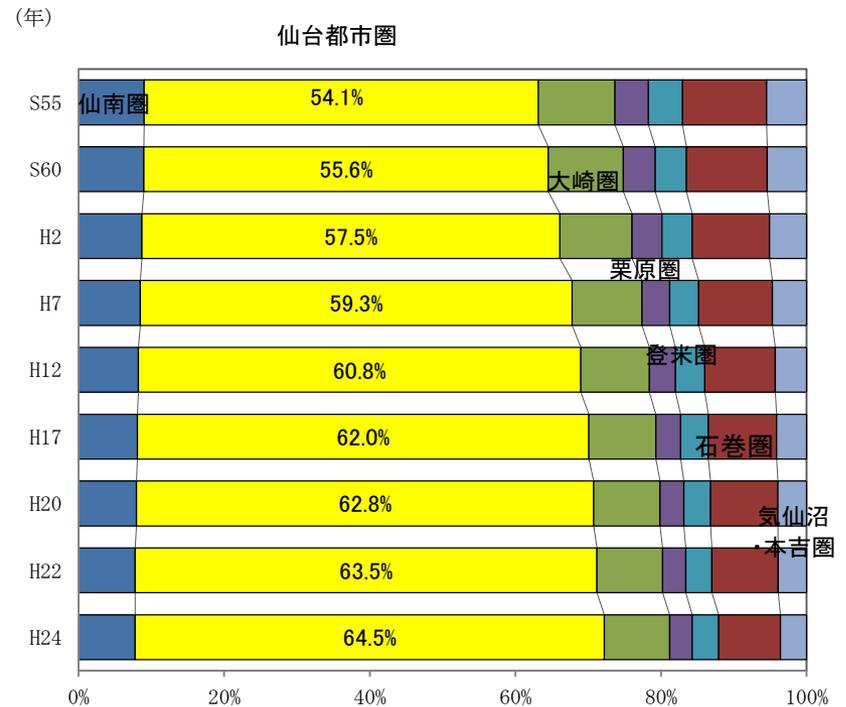
# 1 本県人口の推移

人口は、県全体では平成17年から減少に転じているが、仙台都市圏については平成24年には150万人に達している。その他広域圏は引き続き減少。

## 本県の人口の推移と将来推計



## 広域圏別人口割合の推移

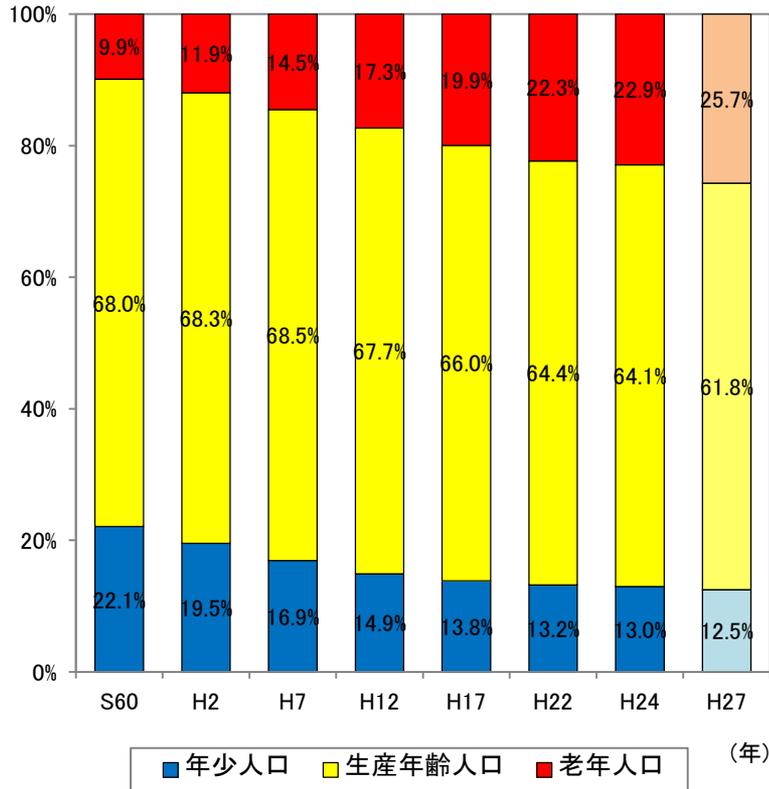


資料：総務省「国勢調査結果(各年10月1日現在)」，県統計課「推計人口統計年報(各年10月1日現在)」，国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口(平成24年1月推計)」

← H27以降は推計

高齢化率は引き続き上がっており、推計によれば平成27年には65歳以上の老年人口の割合が25%を超える見通しとなっている。

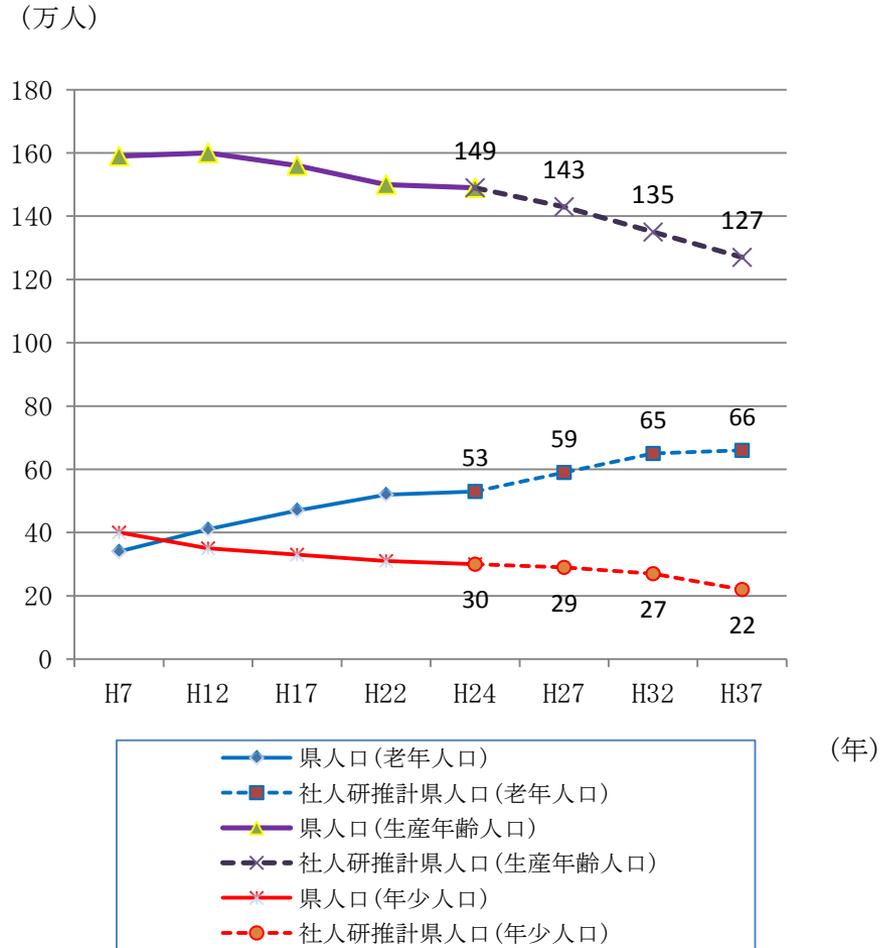
### 本県の年齢3区分別人口割合の推移



資料：総務省「国勢調査結果(各年10月1日現在)」，国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口(平成24年1月推計)」(右図も同様)

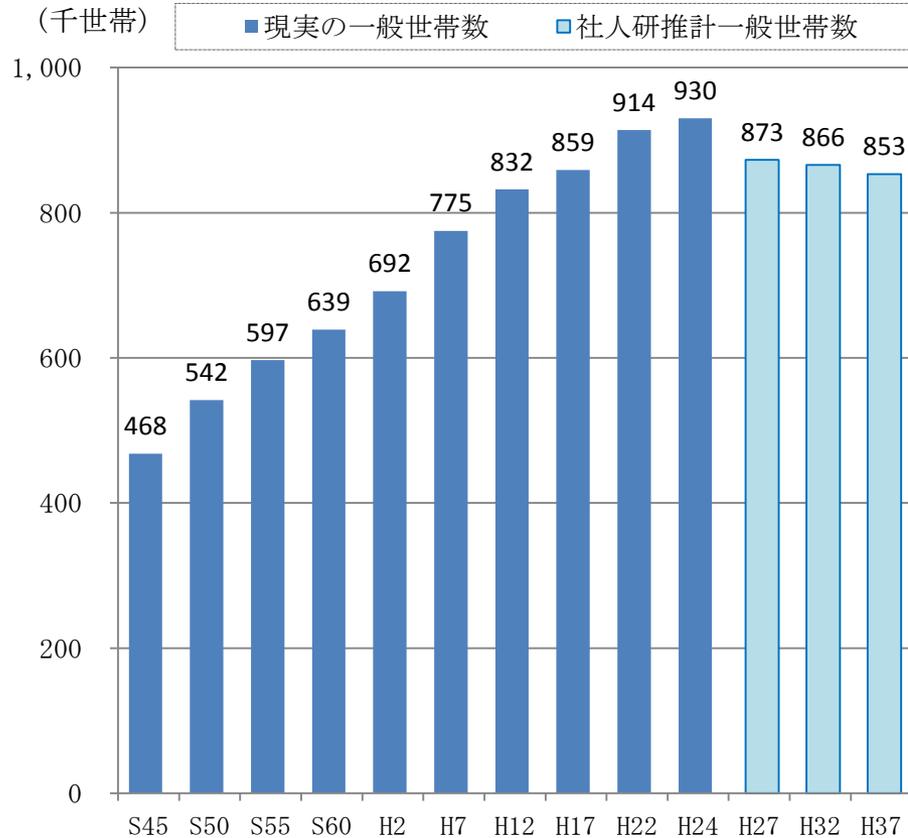
※H27は推計値

### 本県の年齢3区分別人口の推移等



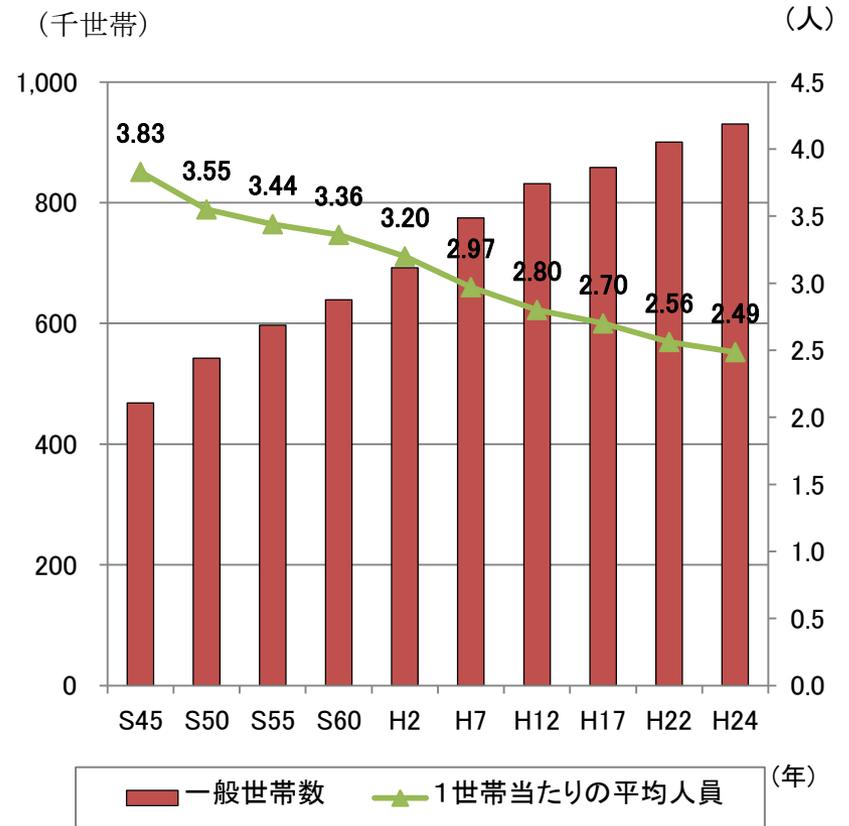
人口が減少に転じた平成17年以降も、世帯数は増加しており、一方、世帯当たりの人員数は平成24年には2.5人を下回った。

### 本県の一般世帯数の推移と将来推計



資料：総務省「国勢調査結果(各年10月1日現在)」，国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)(平成24年1月推計)」 (年)

### 本県の一般世帯当たり平均人員数の推移



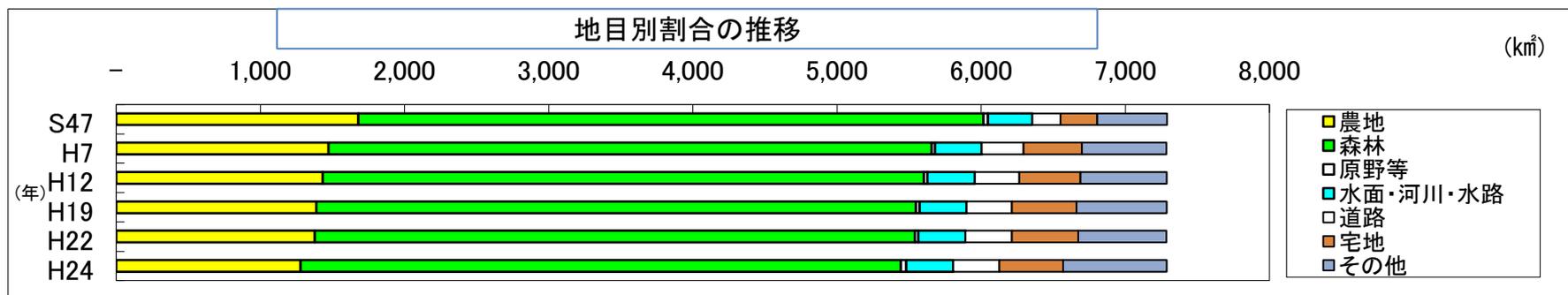
資料：総務省「国勢調査結果(各年10月1日現在)」 (年)

## 2 利用区分別長期推移(昭和47年～平成24年)

(km<sup>2</sup>)

年 利用区分	昭和47年 (第一次県計 画基準年)	平成7年 (第四次県計 画基準年)	平成12年	平成19年 (第五次県計 画基準年)	平成22年	平成23年	平成24年
農地(※)	1,679	1,472	1,433	1,372	1,363	1,262	1,279
森林	4,336	4,184	4,169	4,161	4,162	4,163	4,164
原野等(※)	31	24	24	39	38	37	37
水面・河川・水路	309	323	328	327	327	324	325
道路	195	290	308	313	321	319	320
宅地	254	406	426	448	460	432	443
その他	484	586	597	626	613	749	718
合計	7,288	7,285	7,285	7,286	7,286	7,286	7,286

※H23以降土地利用の現況の把握方法が変更となり「農用地」から「農地」となり「採草地」は含まれず、原野等に含まれることとなった。このため比較の必要上、H19から同様の扱いとした。



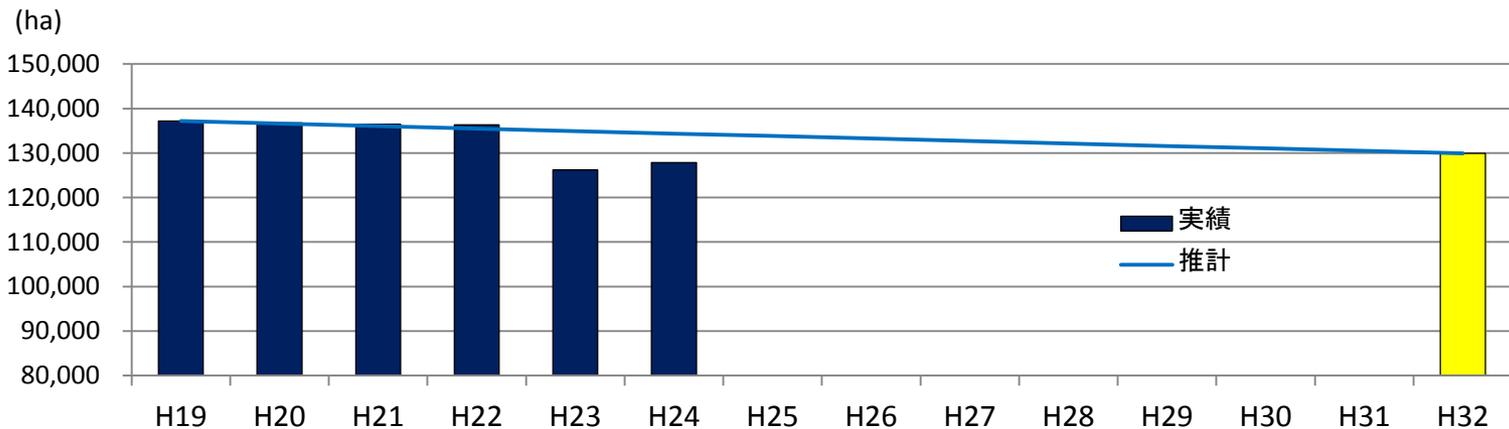
## 3 第5次計画の目標値と現況値, 年平均増減率

(km<sup>2</sup>)

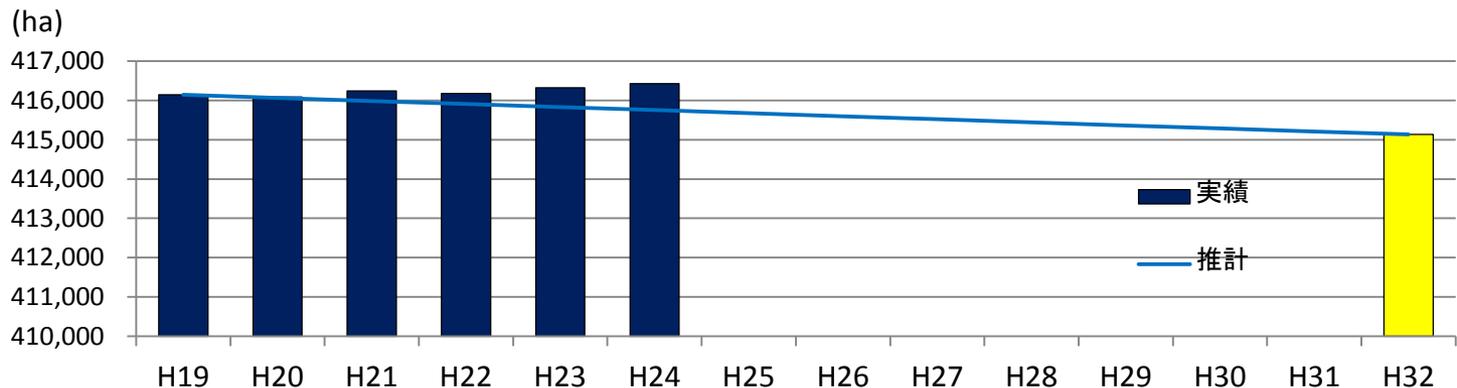
	平成19年	平成32年	平成22年	平成23年	平成24年	乖離状況 (H24-H32)	年平均増減率		備考	
	(基準年)	(目標年次)	(震災前値)	(震災直後)	(現況値)		計画	実績	(H24現況とH19基準年の比較)	
	a	b	c	d	e		H19~H32	H19~H24	e-a	
農地	1,372	1,300	1,363	1,262	1,279	△ 21	△0.4	△1.4	△ 93	H19~24に年平均で約18.6km <sup>2</sup> 減少
森林	4,161	4,151	4,162	4,163	4,164	13	△0.0	0	3	H19~24に年平均で約0.6km <sup>2</sup> 減増加
原野等	39	38	39	37	37	△ 1	0	△1.7	△ 2	
水面・河川・水路	327	331	327	324	325	△ 6	0.1	△0.1	△ 2	H19~24に年平均で約0.4km <sup>2</sup> 減少
道路	313	327	321	319	320	△ 7	0.3	0.5	7	H19~24に年平均で約1.4km <sup>2</sup> 増加
宅地	448	483	460	432	443	△ 40	0.6	△0.2	△ 5	H19~24に年平均で約1km <sup>2</sup> 減少
その他	626	656	613	749	718	62	0.4	2.8	92	H19~24に年平均で約18.4km <sup>2</sup> 増加
合計	7,286	7,287	7,286	7,286	7,286	△ 1	0	0	0	

## 4 地目別面積等の推移

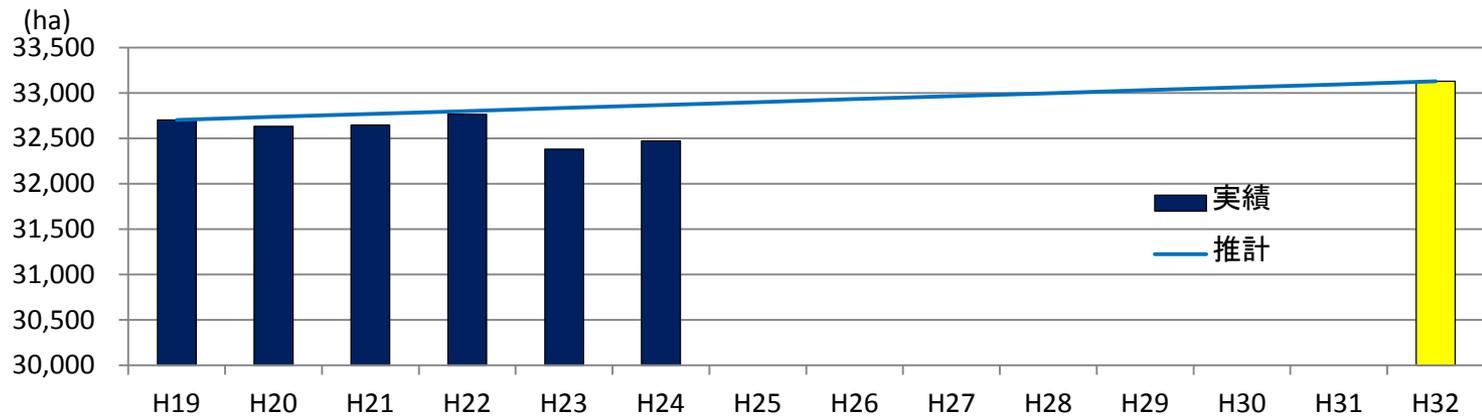
### 農地面積の推移（H19～H24の現況値と第五次改定時点の推計）



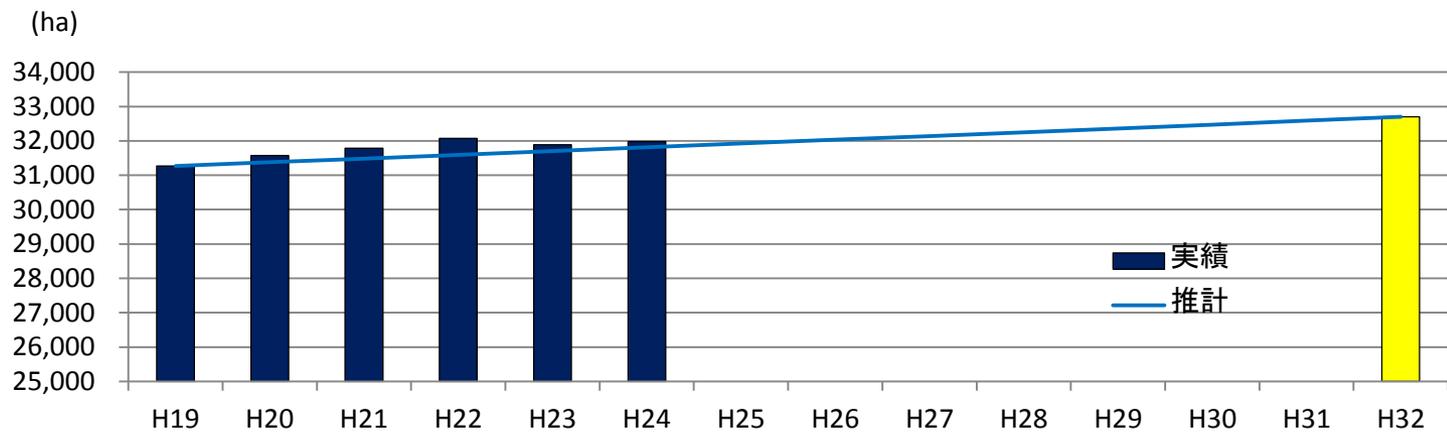
### 森林面積の推移（H19～H24の現況値と第五次改定時点の推計）



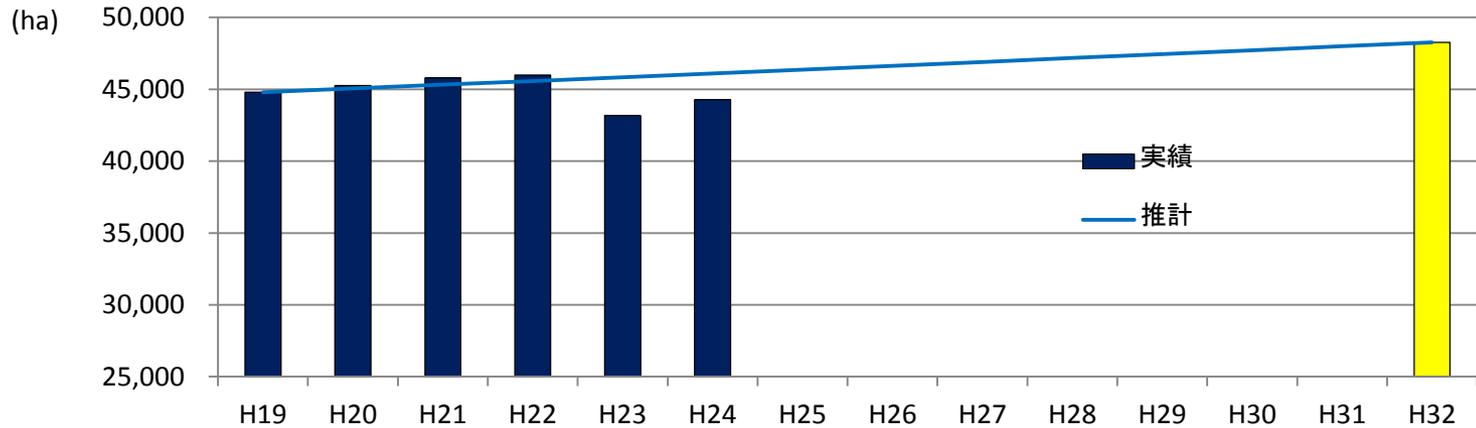
## 水面・河川・水路面積の推移（H19～H24の現況値と第五次改定時点の推計）



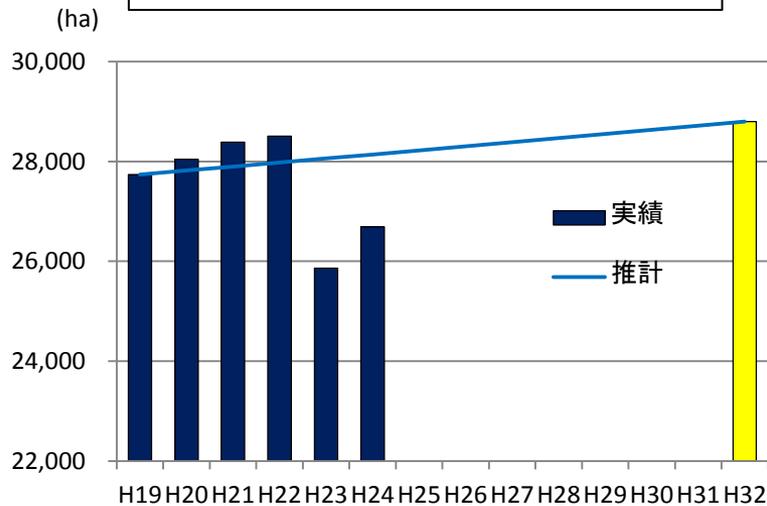
## 道路面積の推移（H19～H24の現況値と第五次改定時点の推計）



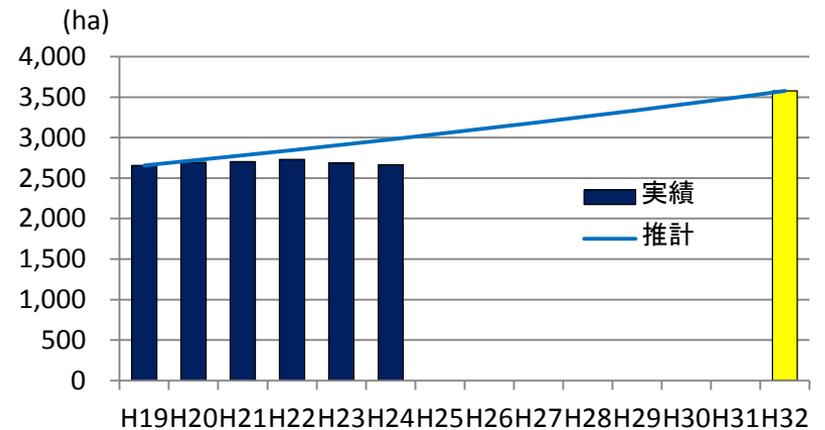
## 宅地面積の推移 (H19～H24の現況値と第五次改定時点の推計)



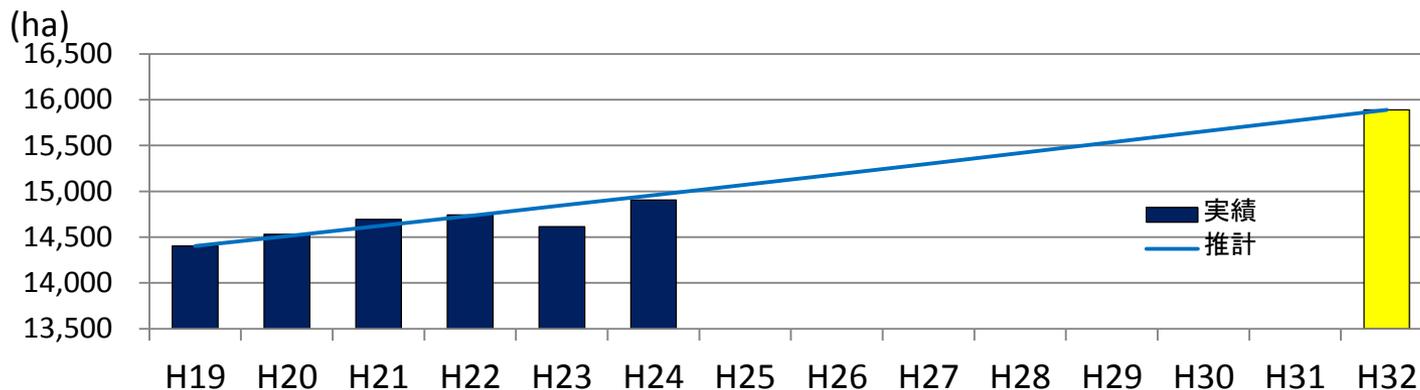
## うち住宅地面積の推移



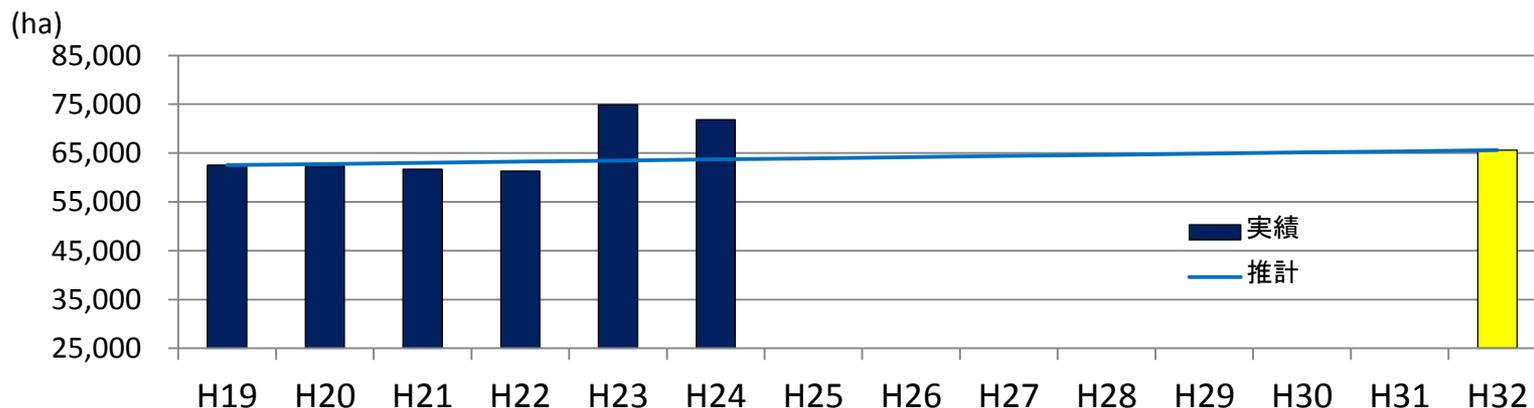
## うち工業用地面積の推移



「その他の宅地」面積の推移(H19～H24の現況値と第五次改定時点の推計)



「その他」面積の推移(H19～H24の現況値と第五次改定時点の推計)

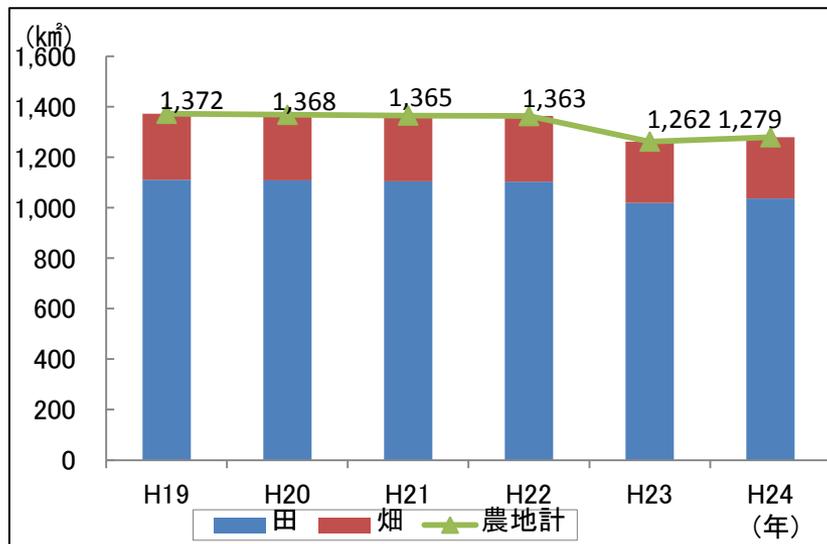


# 5 関連データ

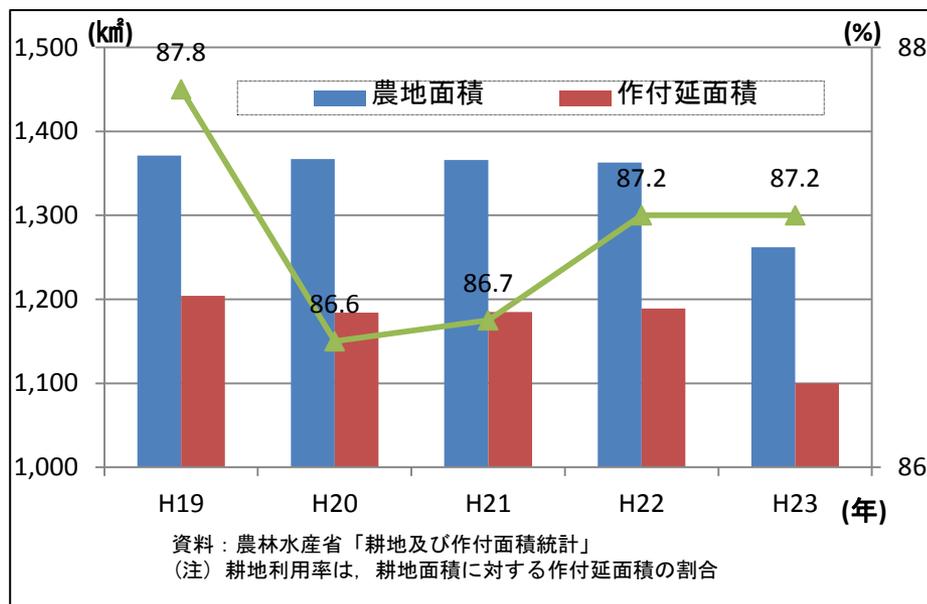
# 農地

農地面積は減少を続けるも、ここ数年減少幅は縮小していたが、震災で約14,000haが被災したため大幅な減少となった。H24は復旧により微増。

### 農地面積の推移等

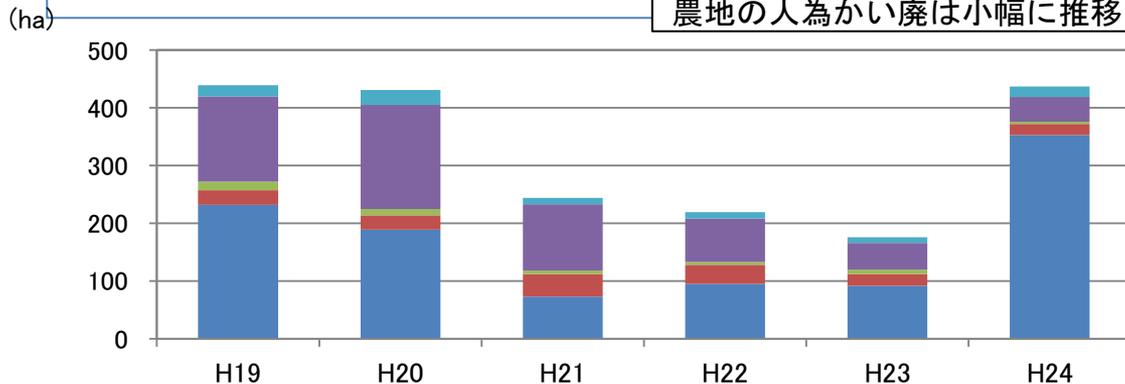


### 農地面積, 作付延面積, 耕地利用率の推移等



### 農地の改廃等面積の推移

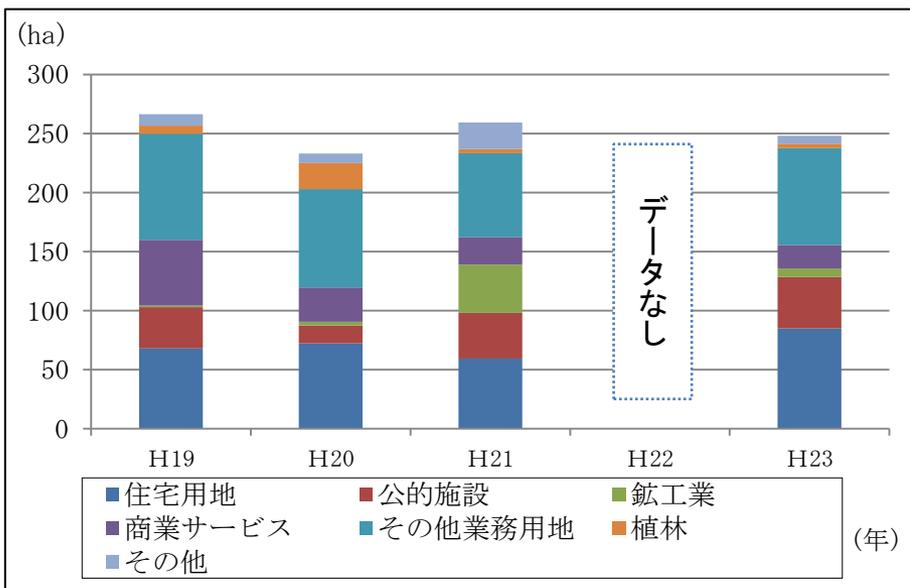
農地の人為かい廃は小幅に推移してきたが、震災により大幅増



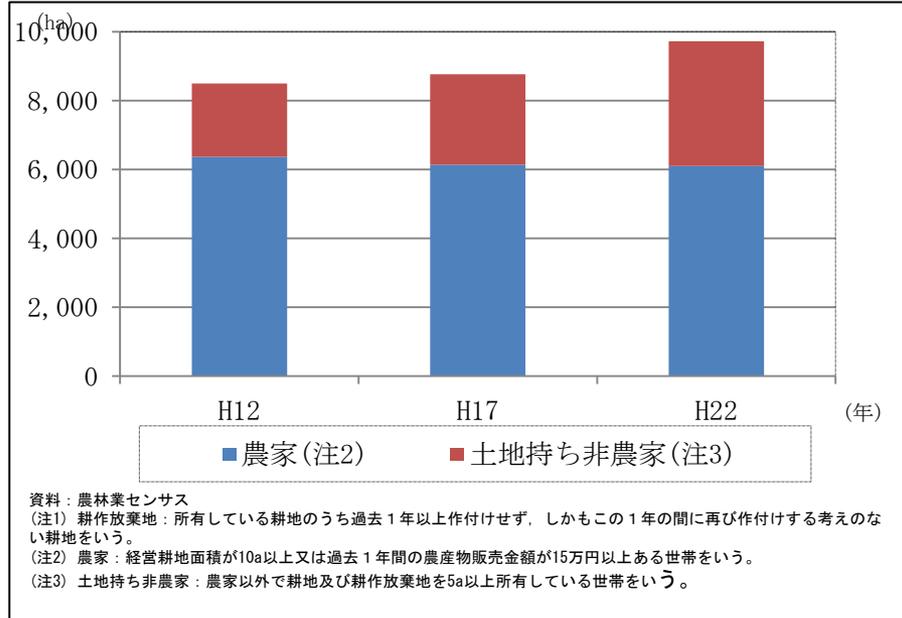
資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」  
 (注1) 人為かい廃：農地を工場用地、宅地、道路、農林道、植林、耕作放棄地等とした場合をいう。  
 (注2) 期間は、それぞれ前年の7月15日からその年の7月14日までのもの。

## 農地法に基づく農地転用の許可・届出面積の推移

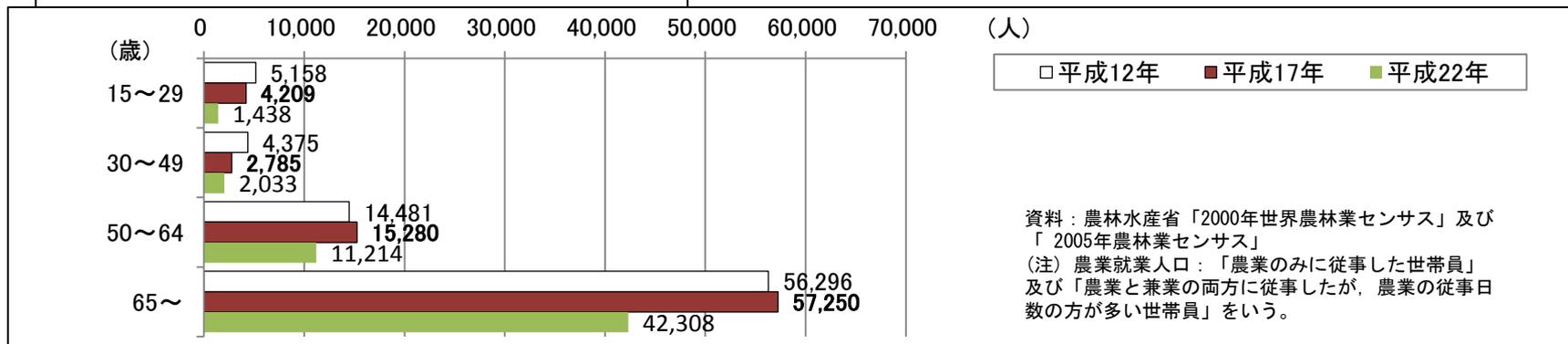
住宅用地, 公的施設, その他業務用地への転用が増加



## 耕作放棄地面積の推移



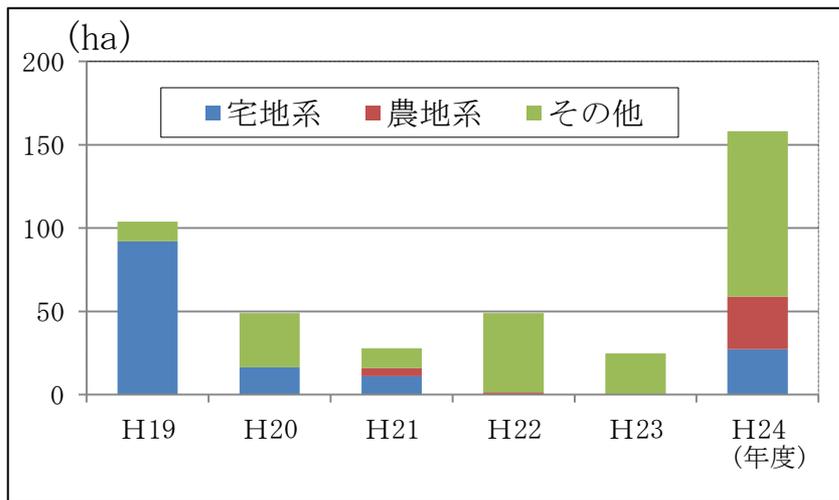
## 農業就業人口の推移



## 森林

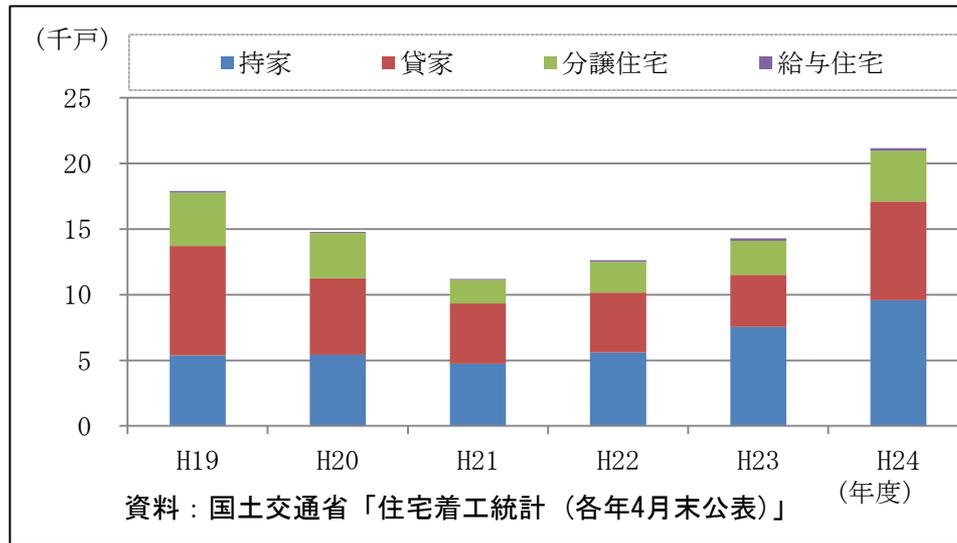
### 森林法に基づく開発許可等面積

※「その他」の8割は「土石の採取」。

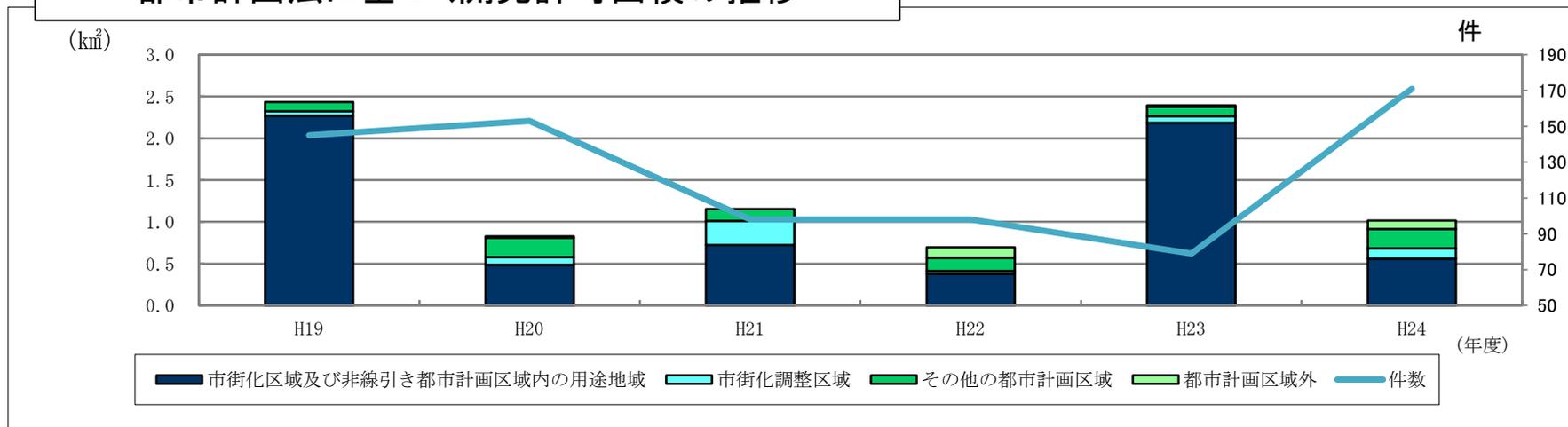


## 宅地

### 新設住宅着工件数の推移



### 都市計画法に基づく開発許可面積の推移

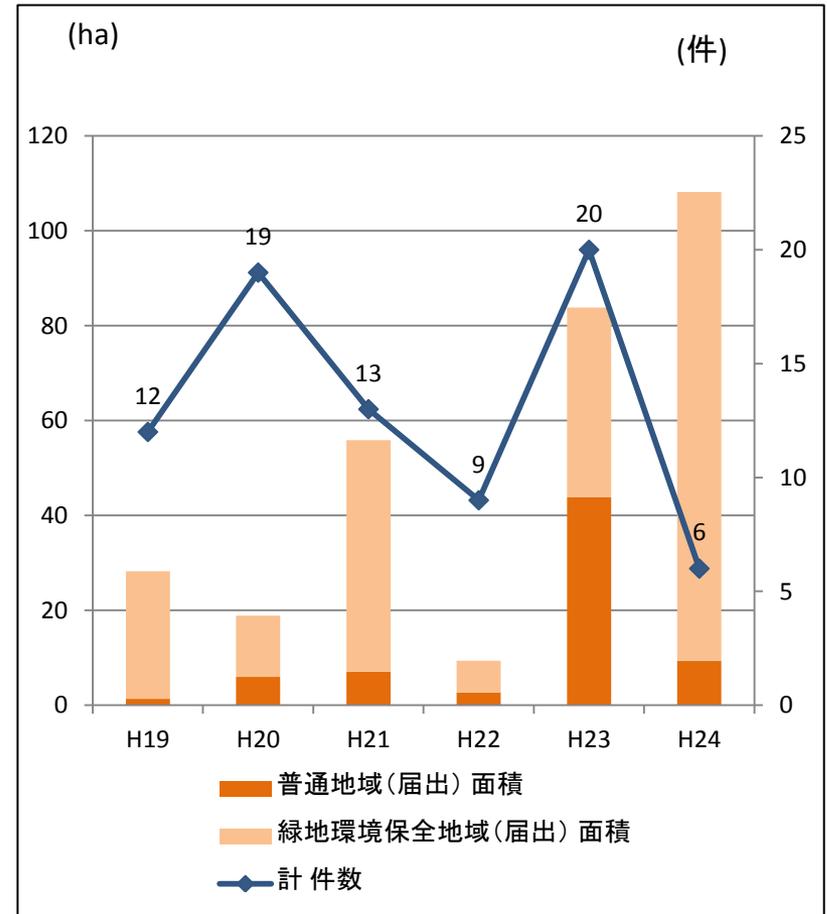
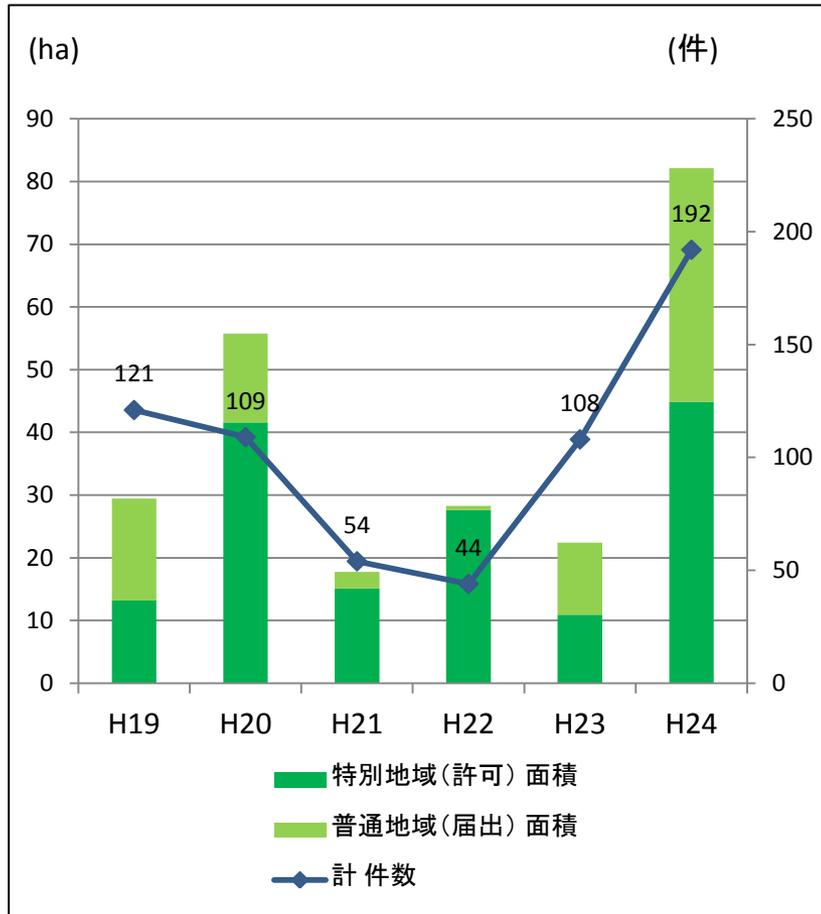


# 自然保護関係

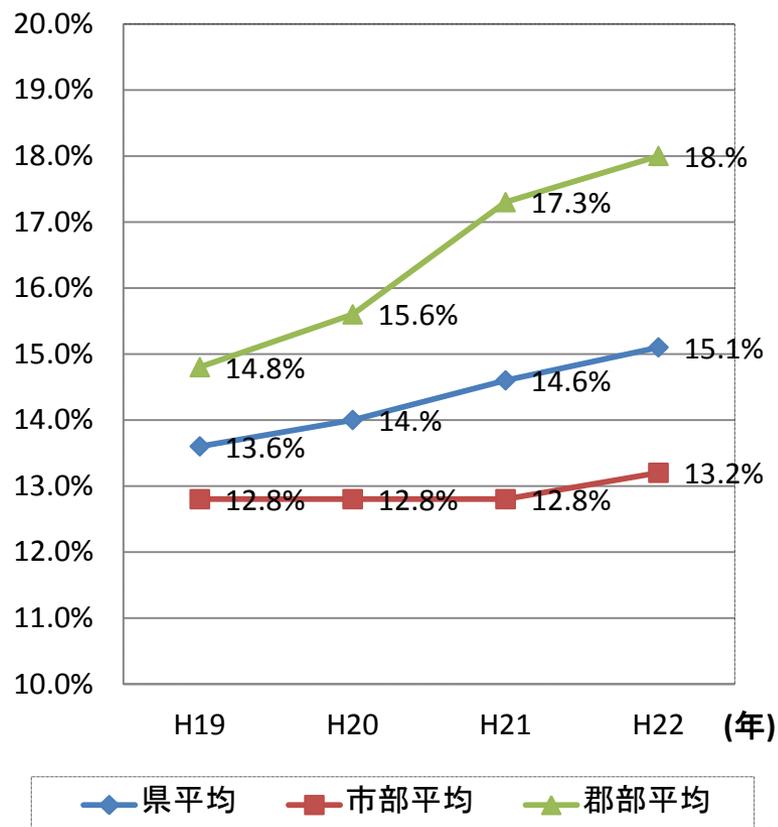
自然公園区域，自然環境保全地域等内における許可・届出面積は復興事業等により増加している。

自然公園区域内における  
許可・届出面積等の推移

自然環境保全地域等内における  
許可・届出面積等の推移

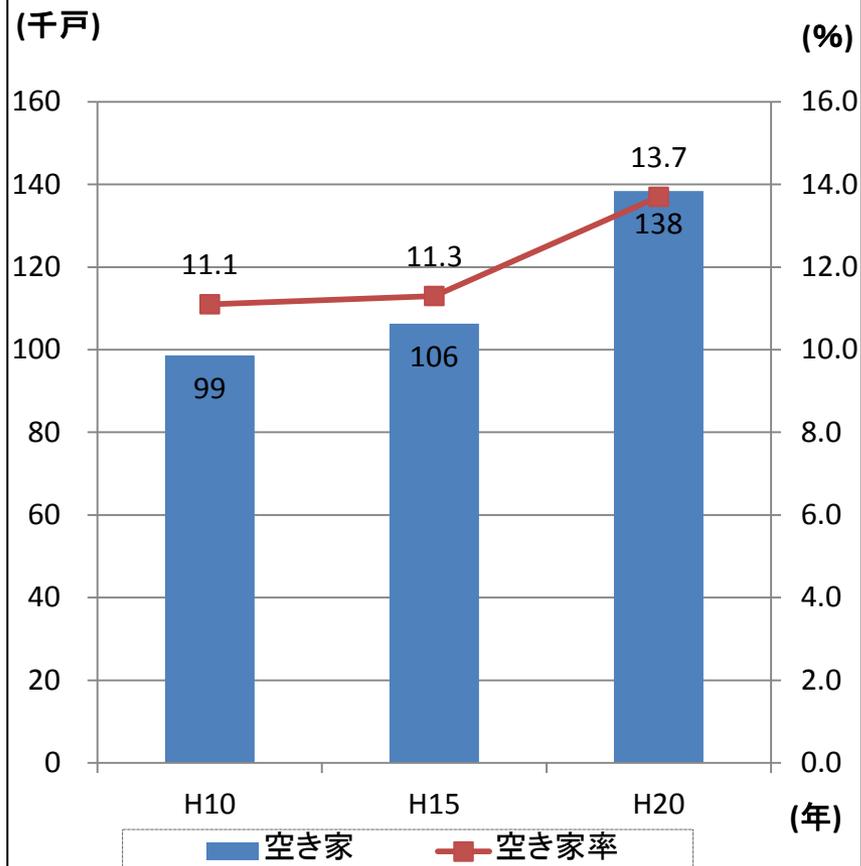


## 空き店舗率の推移



資料：県商工経営支援課「宮城県商店街空店舗実態調査結果」  
 (注) 空店舗：従前店舗として利用された建物（個店、テナント）で、廃業、移転等により現在は空スペースとなっているもの。また、利用者が現れるまでの間、暫定的に車庫、物置等として使用されているものを含む。ただし、駐車場や空地になった場合は除く。

## 住宅総数における空き家率の推移



資料：「世帯に係る土地基本統計」  
 「法人土地基本調査」

